



世界銀行防災共同プログラムの一環で栗平地区を取材

～紀伊山地砂防事務所～

世界銀行では、日本の経験と知識を世界各国の専門知識と結びつけ、発展途上国の防災技術の発展に役立てるための支援として「日本-世界銀行防災共同プログラム」に取り組んでこれられてきており、その一環として紀伊山地砂防事務所対策工事を実施している「栗平地区」河道閉塞箇所取材に来られました。

平成23年台風12号による土砂災害のうち、規模の大きかった9地区の中で、今回は、栗平地区におけるワイヤーセンサーを用いた避難までの流れや河道閉塞部周辺の土砂撤去作業風景、無人化施工技術等を熱心に取材され、また、地権者の方にもご協力頂き、避難方法の実演等の取材もされました。



栗平地区

栗平地区での取材風景

対策に関する状況説明



無人化施工機械※1の操作状況



※1: 作業時に斜面崩壊の恐れがある場所で、掘削機械に無線装置を取付け、離れた場所から安全に作業を行うための技術

ワイヤーセンサー※2設置状況



※2: 土石流が発生すると、赤色の回転灯が回るとともに、警報音が鳴り、地域住民に土石流などの発生を緊急に通報する装置

避難方法の実演



土石流が発生した場合の警戒避難について、地元の方に協力していただき、模範的に避難を行いました。

<取材日>

平成27年3月24日(火)

<取材箇所>

栗平地区(奈良県十津川村)

<取材者>

世界銀行 2名

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局

紀伊山地砂防事務所 工務課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681

TEL 0747-25-3111 (代)

